

～とどけよう！現場の声～

「わたしたちは、こんな看護がしたい」



慢性的な人手不足により、本当はやりたい看護はいっぱいあるのに、時間が足りない…そう悩んでいませんか？

看護師が増えれば、笑顔でゆとりある看護ができ、看護の質の向上につながります。「なぜ看護師を目指したの？」「いまの2倍に看護師が増えたら何ができるだろう？」みなさんが思う納得の看護を実現するために、看護職員の声を集めます。

とどけよう！
現場の声

こんな看護がしたい!!

2017年発行「看護・介護労働黒書」事例より一部抜粋

「仕事をこなす」よりも「看護をしたい」という思いです。日々の忙しい業務の中で、家に帰ってから「あの人にもう少し〇〇してあげられたらな～」と思う事が沢山あります。患者に寄り添って話を聞きたくても、その時間もさけないほどの業務量。学生時代からの友人とも、「残業が多くて、〇時に帰った」など負の会話しかしていないような気がします。もっと「こんないい看護をした」とか、「働きやすい職場で楽しい」とかポジティブな会話をしたいのです。3年経った今でも、「看護師」の本来の姿で働けていない、後輩指導の時もっと看護の楽しさややりがいを伝えたい。そのためには、一人一人がゆとりある仕事や看護をする必要があります。まずは看護師をふやして、看護の楽しみややりがいを感じるために頑張ります。

こういう働き方がしたい!!

あと〇人増えたら、こういう働き方ができるなど、自由に記載してください。

都道府県：
組織名：
施設名（職場）：
職種：保健師・助産師・看護師・准看護師（○をつける）
経験年数：（ ）年目
報告者：
連絡先：

施設名や報告者名の公表の可否についてお知らせください
施設名⇒ 可 否
報告者名⇒ 可 否

QRコードからも
入力可能です→

